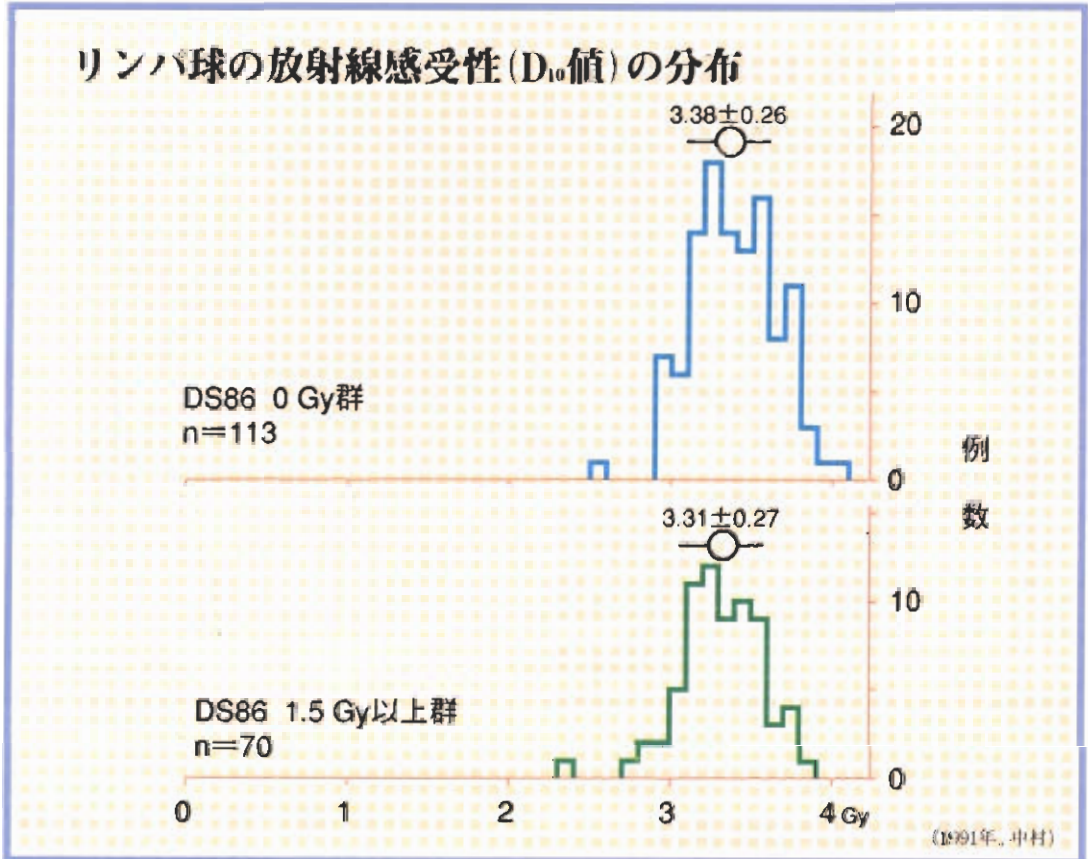


9

放射線感受性



リンパ球の放射線感受性

ヒト個体間において放射線感受性に差異があるのか。また、高い線量の放射線を受けた場合、放射線に抵抗性のある人が多く生き残ったという可能性があるのかについて、遠距離被爆者113名および近距離被爆者70名を対象にして、リンパ球を試験管内でX線照射して感受性を測定した報告がある。

図に示すD₁₀とは、90%のリンパ球が死ぬX線の線量のことであり、この値が大き

ければ放射線抵抗性。逆にこの値が小さければ放射線高感受性ということになる。D₁₀の分布は、遠距離被爆者群と近距離被爆者群との間に差異は認められず、高線量被爆者の中に放射線に抵抗性の人が多いという成績はみられていない。

また、D₁₀の分布の広がりも、同一健康人の反復調査のそれと類似しており、図に示した分布の広がりの多くは実験間の誤差によるものと考えられ、リンパ球の細胞死を指標とした場合、放射線感受性の個人差は小さいものと考えられている。